

登録コード	MA734301	開講年度	2026				
授業科目名	小児保健・看護学特別研究					担当教員	中山 佳子
英文授業名	Research Thesis (Master's) in Child Nursing					副担当	
単位数	10	講義期間	通年	曜日・時限	月曜・3時限 月曜・4時限・不定期	対象専攻 / 学年	母子看護学領域 / 2 年次
講義室				授業形態	演習	授業科目区分	必須科目
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素						
	MS26カリ(保健学), MS25カリ(保健学), MS24カリ(保健学), MS23カリ(保健学)						
	【保健学】保健・医療・福祉の現場において独創的な観点で研究を推進する能力を有する。					小児保健学領域において、対象者が抱える健康問題に対して、エビデンスに基づく十分な知識を前提に、独創的な発想で課題を解決するための新たな技術やシステムを探索することができる。	
(2)授業の概要	小児保健学領域における科学的根拠に基づく保健活動を実践するための能力を獲得する。						
(3)達成目標（一般学習目標GIO）	小児保健学領域に関連した研究課題を設定し、適切な研究方法による研究計画を作成する。これによりデータの収集・分析を行い、研究論文を作成する。						
(4)達成目標（個別行動目標SBOs）	1．小児保健学の臨床から得た課題に関する研究テーマを設定できるようになる。 2．適切な研究方法を選択し、研究計画書を作成できるようになる。 3．データ収集・分析を行い、研究論文を作成できるようになる。						
(5)授業計画	日時は受講学生と検討の上、決定する。研究の進捗により所要時間は異なるが、項目ごとに指導時間に加え、相当程度の事前事後の自主研究時間を要する。 ・小児保健学の臨床から得た課題に関する文献検討を行い研究テーマを設定する。 ・テーマに基づく研究計画を立案し、審査を受ける。 ・データ収集・分析を行う。 ・修士論文の作成、研究成果のプレゼンテーションを行う。						
(6)授業の進め方	適宜プレゼンテーションとディスカッションを行いながら進める						
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	自ら積極的に探究する姿勢を期待する。 事前学習：次回の授業に関する課題を毎回課す。 事後学習：前回の授業内容に関する質問を毎回行う。 授業前後に1時間程度の自己学習を行うこと。						
(8)成績評価の方法	研究課程・論文内容で70点、プレゼンテーション・質疑応答で30点、合計100点満点で60点以上を合格と評価する。						
(9)成績評価の基準	判定基準は、90 - 100点（秀）、80-89点（優）、70-79点（良）、60-69点（可）、60点未満（不可）とする。 研究課程・論文内容は下記の項目で評価する。 - 研究の目的・方法・結果・考察について十分に理解し、明確に説明できている（30点） - 研究内容について提起される質問に対して、論理的に説明できている（30点） - 研究の将来展望について論述できている（10点）						
(10)学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	質問・相談は随時受け付ける。 中山佳子：研究室（中校舎4階）ynaka@shinshu-u.ac.jp						
【テキスト，教材，参考書】							